

<学校生活全般について>

残念ながら「目標を持って学校生活を送っている」「中学校生活は楽しく充実している」「松柏中学校が好きである」という問いに対する回答は、若干低下しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために、いろいろな活動が制限されたことが背景にあるかも知れません。全ての生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、一人一人をしっかりと見つめて指導に当たりたいと思います。

<学校行事等について>

1学期実施できなかった「修学旅行」「職場体験」「集団宿泊研修」を2学期に実施することができたおかげで、高い評価が得られました。「運動会」や「文化祭」は、規模を縮小して行いましたが、生徒の活躍の場を設定することができたので、多くの生徒が満足感を感じたようでした。

<学習面について>

「丁寧に、分かりやすい授業をしている。」という問いに対して、90%以上の生徒が肯定的に回答してくれました。また、「授業内容がよく理解できる教科が多い」という問いに対しても、80%以上の生徒が肯定的な回答をしています。一方で、基本的な学習習慣の定着については、「思わない」と回答した生徒が増えました。これまで以上に個別の指導を強化して、学習習慣の定着を図っていきたいと考えています。

<生活面について>

「きまりを守り、規則正しい生活を送ろうと心掛けている」という問いに対して、肯定的な回答が増えました。一方で「学校は、自分たちの間違った行動に対して、適切に指導している」という問いに対する肯定的な回答は下がりました。思春期なので、生徒が誤った判断や行動をすることはありますが、生徒の話をしっかりと聞き、生徒が納得する指導を心掛けていきたいと思います。

<人権教育について>

11月を人権教育強調月間と位置付けて、人権集会や人権に関する学級活動、特別の教科道徳等の授業を行いました。さらに、学んだことを基に、人権作文を制作しました。そのおかげもあって、全体的によい結果を得ることができました。さらに1月には、人権サークル「プロGRESS」が中心となって、一步踏み込んだ人権集会も行いました。今後も、いじめや仲間外しの起こらない集団づくりを目指して取り組んでいきたいと思っています。

<その他>

「自分の学校生活について家族が関心を持ってきている」という問いに対する肯定的な回答が7%増加しました。また、自分の進路に対して、真剣に考える生徒が増えました。生徒は思春期という人生で最も多感な時期を生きています。学校でも、生徒の声に耳を傾け、生徒に寄り添う教職員を目指して頑張りたいと思います。